

オプトアウト用情報公開文書 1 (単施設研究)

作成日：2025年11月17日

1. 研究課題名	「公立病院外来におけるエムセラ治療導入の現状と課題」 「エムセラ治療が骨盤底筋与える影響 ～IPSS・OABSSによる前後比較～」
2. 研究の対象	2025年4月30日から2025年11月までのエムセラ治療を受けた患者
3. 研究目的・方法	(目的) 本研究では、治療前後に泌尿器科外来におけるエムセラ治療導入前後の症状変化を、IPSS(国際前立腺症状スコア)および OABSS(過活動膀胱症状スコア)を用いて評価し、非侵襲的磁気刺激治療の有効性と患者満足度を明らかにすることである。 (方法) 2025年4月から2025年11月までにレジューム治療を受けた患者を対象として以下の期間で排尿状態のデータを収集し比較をする 期間：治療前、6回治療後 項目：IPSS・OABSS、 解析は対応のあるt検定またはWilcoxon検定を用いる
4. 研究に用いる試料・情報の種類	情報：2025年4月30日から2025年11月までのエムセラ治療を受けた患者のIPSS・OABSS等の項目について 試料：使用しません
5. お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、 <u>2026年12月31日まで</u> に下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： (研究責任者) 市立貝塚病院 看護局・ 藤 光穂 (8087) 〒597-0015 大阪府貝塚市堀3丁目10番20号 TEL:072-422-5865 FAX:072-439-6061